

平成22年度 県土整備部環境配慮事例報告書

事業主管課	道路総局道路整備課
実施機関	県土整備部(三好)

【事業の概要】

事業の種類	道路の整備	一般国道、県道、街路
事業箇所名	(一)大利辻線 三好市池田町松尾	
事業の規模・状況	125 m	小規模事業a 施工段階

【事業の目的及び概要】

当該箇所は、幅員が狭小なうえ、防護柵等の安全施設もない危険な箇所である。また、近年、本箇所の終点側に位置する景勝地(竜ヶ岳)や松尾川温泉等の人気により、交通量の増加が見込まれている。このため、早期に改良工事を行い、周辺地域の経済活動の活性化及び生活道路としての利便性の向上を図るものである。全体計画延長L=125m、W=5.0m

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
○	○			○			○		

【特に配慮した環境要素と実施事項】

本箇所は、良好な河川環境を有する一級河川吉野川水系松尾川の河道掘削及び護岸工を行う道路工事となるため、水環境と景観に配慮し工事を実施した。
特に下記内容について配慮し実施した。
・周辺の景観に調和するよう、現地採取石材及び近隣(祖谷川水系)で産出の石材を護岸工及び根継ぎ工に使用した。
・床掘時のポンプ排水時には、河川への直接排水を避け、沈殿池を設け河川水の濁り防止に努めた。
・ヨシ等による良好な河川環境の早期回復を図るため、根茎を含む河床土を覆土に使用。

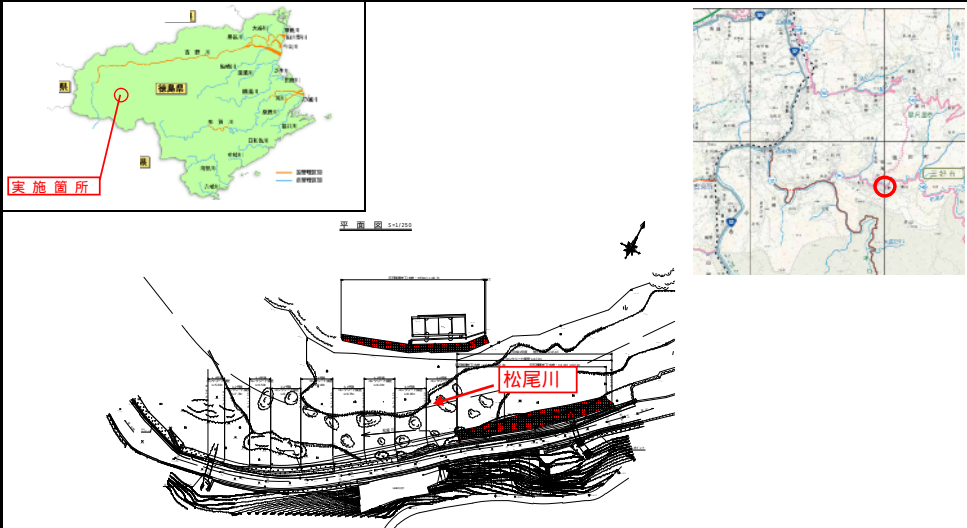
【目標に対する達成状況】

当初目標とした環境要素の配慮事項について実施し、目標を達成している。

【実施事項に対する評価】

実施者	現地採取石材を使用しているため、周辺の景観にマッチしている。また、河道掘削などにより水際部が一部改変されているが、今後、ヨシ等の植生の回復状況を注意深くモニタリングする。
主管課	景勝地に近い県道で自然石を利用した工法は、従来からのものであるが、石積みと根継ぎ工を併用、かつ、根茎を含む覆土も有効活用しており、現地の河川にマッチした工事となっている。
専門家	沈殿池を設けるなど周辺環境へ配慮する姿勢は評価できる。ツルヨシ群落に対する配慮も見られるが、川岸に土砂が堆積する環境が整えばツルヨシ群落は回復するので、環境配慮課題としてはそれほど優先順位が高いものではない。このような環境であれば渓流特有の植物が見られるので、そうしたものに対する配慮等について、制度をうまく活用しアドバイザーに相談することにより、よりよい環境配慮を進めていただきたい。

位置図・平面図等



写真、図面等

